

滋賀県労働者福祉協議会
 日本労働組合総連合会 滋賀県連合会
 近畿労働金庫滋賀地区統括本部
 全労済滋賀推進本部
 滋賀県勤労者住宅生活協同組合
 滋賀県生活協同組合連合会
 コメディア株式会社

滋賀県労働福祉新聞

豊かなくらし

滋賀県労働福祉新聞
 豊かなくらし 第711号(改題546号)
 平成30年1月15日発行(毎月1回15日発行)
 編集 大津市打出浜2番1号
 コラボしが21 6階(〒520-0806)
 発行人(社)滋賀県労働者福祉協議会
 山田 清
 TEL 077-524-6290・FAX 523-4070
 URL <http://www.s-rofuku.com>
 E-mail shiga629@aioros.ocn.ne.jp
 印刷所 コメディア株式会社



年頭のあいさつ

一般社団法人

滋賀県労働者福祉協議会
会長 山田 清

連帯・協同で安心・共生の

福祉社会をつくろう!

新年あけましておめでとうございます。

中央労福協は、昨年11月の63回定期総会で冒頭のスローガン「連帯・協同で安心・共生の福祉社会をつくろう!」をベースに2018～2019年度の活動方針を決定しました。

今日の日本社会は、社会構造の変容と広がる格差・貧困や社会的孤立です。人口は、都市への集中が進み、地方は減少に歯止めがかからず、過疎化で疲弊しています。行政や福祉サービスの維持が困難な自治体も出てきています。この要因は、少子化による人口減少だと言われています。保育所の待機児童問題にみられる子育て支援が十分でなく、教育費や奨学金返済の負担と長時間労働問題などが、指摘されています。安心して子育てや学びができる環境の整備や職場と家庭の両立支援を早急に進める必要があります。

格差・貧困や社会的孤立の主な要因は、不安定雇用と低賃金といっても過言ではありません。競争に勝った一部の富裕層に富と権力が集中し、格差・貧困を拡大させてきました。雇用が不安定で低賃金の非正規労働者は働くものの4割を超え、男女の賃金格差や2割を占める年収200万円以下のワーキングプアの実態は解消されず、

この経済格差は、子どもの教育格差につながり、貧困の連鎖を生んでいます。一方で、安倍政権のアベノミクスの5年間の成果は大企業を中心とした空前の内部留保400兆円だと言われています。その一部を非正規から正規への転換や賃金の引き上げに充てるべきです。貧困がもたらすもうひとつの問題は社会的孤立です。経済的な支援と共に孤立しない居場所づくりなどの包括的な支援体制の整備が必要です。生活困窮者自立支援制度の拡充と共助拡大の取り組みと労働者自主福祉運動をさらに強くすることが必要です。

昨年暮れの労働福祉事業団役員と事業推進役員、県下9つの地域労福協三役の合同役員研修会で経験豊かな労働者福祉中央協議会アドバイザーの高橋 均氏を講師に招き「歴史から学ぶ労働運動・労働者自主福祉運動の理念について」というテーマで研修しました。共助の輪を地域に広げるためにも、労働者自らが立ち上げた自主福祉事業は「ろうきん」「全労済」「住宅生協」「生活協同組合」であると再認識し、それぞれの団体が遺憾なく役割を發揮することを確認しました。

今年もよろしく願いいたします。

〇 (一社) 滋賀県労働者福祉協議会

くらしなんでも相談

相談専用電話
077-522-4600

相談受付：平日(月～金)
相談時間：午前10時～午後4時

くらしの中の悩みごと・・・どこに問い合わせたらいいのさろう

くらしサポートセンターしがでは皆様のお困りごとをうかがい、最も適切な相談機関をご紹介します。

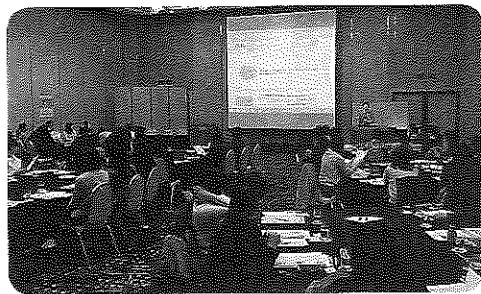
困ったな、と思ったらお近くのくらしサポートセンターしがまで・・・

くらしサポートセンターしが	大津市打出浜2-1	コラボしが21 6階	TEL077-524-2233
くらしサポートセンターしが大津	大津市松本2丁目10-6	連合福祉会館1階	TEL077-572-7720
くらしサポートセンターしが彦根	彦根市大栗町4-28	彦根労働福祉会館1階	TEL0749-27-3500
くらしサポートセンターしが草津	草津市大路1丁目1-1	エルティ932 4階	TEL077-564-5512
くらしサポートセンターしが近江八幡	近江八幡市藤岡町南4丁目1-4	おけいコート1階	TEL0748-37-5522

「2017年度 全労済滋賀推進本部 書記・担当者研修会」の報告

全労済滋賀推進本部では、12月6日(水)に「2017年度全労済書記・担当者研修会」をクサツエストピアホテルにて開催しました。当日は、62団体から70名の書記の皆さまに参加いただきました。今年度は、2017年9月に60周年を迎えた全労済の「あゆみ」について紹介、また、外部講師を招いての「火災・地震保障の考え方と商品知識」を中心としたセミナーを開催しました。

冒頭、主催者を代表して西村本部長より日頃の共済活動の御礼を、また業務委員会を代表して村田業務委員長より、専従書記の皆さまが中心となって、組合員の皆さまに「備えることの大切さ」を伝え、組合員とご家族の安心を支える活動をいただきたいと挨拶がありました。



午前の研修では、「全労済60年のあゆみと被災者対応」～東日本大震災の経験から学ぶ～と題し、全労済滋賀推進本部白川事務局長より講演をおこないました。東日本大震災を宮城県で経験した白川事務局長からの実体験を基にした「記録と記憶」について講演と、その経験から考える「防災・減災の取り組み」「無保障者を無くす取り組み」等について提案しました。

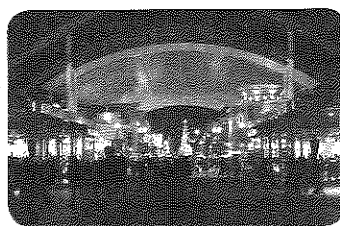
午後の研修では、FPユニオンLABO代表取締役 宮越肇先生より、「火災・地震保障の考え方と商品知識」～現場の皆さんと一緒に考えたい自然災害付住まいる共済の推進～と題してセミナーの講演をいただきました。他保険の動向や火災保険との保障内容の違いをはじめ、住まいる共済の「強みと弱み」をファイナンシャルプランナーとしての公平な立場から説明いただき、今後の共済推進のポイントやケース毎の推進手法の講演となりました。また、参加者全員でのグループワークでは、「住まいる共済」の推進方法を議論いただき、今後の共済推進活動に生かせる、楽しくもあり興味深いセミナーとなりました。

最後に津田業務副委員長による、研修会の取りまとめと、今日の研修をこれからの共済活動に生かしていただきたいとの挨拶をもって、研修会を終了しました。参加された書記の皆さまからは、「今後は自信を持って住まいる共済の良いところを組合員さんに説明できる」、「組合執行部のメンバーにもセミナーを受講し知識習得して欲しい」、「もっと自分自身が知識を深め組合員からの相談に対応をしたい」、「他団体の書記の方々と親交を深める良い機会となった」などの声をいただきました。

地区労福協だより (草津栗東地区労福協)

～家族向けイベント～★USJ日帰りバスツアー★を開催!!

草津・栗東地区労福協では、組合員とご家族が幅広く参加できる家族向けイベントとして、2017年12月2日(土)に「USJ日帰りバスツアー」を開催いたしました。このバスツアーは一昨年大好評だったイベントで、昨年多くの労働組合からの問い合わせの声があったこともあり、再開となりました。



当日の総参加者数は11単組から195名、バス5台でのツアーとなり、行き・帰りのバスの時間も楽しく、家族を含めた同組合の仲間同士の交流がより一層深まる貴重な時間となりました。



パーク到着後は、それぞれのご家族でお目当てのアトラクションを目指し分かれての行動となりましたが、やはり人気のミニオンパーク、ハリーポッターへ向かう方が多かったように見えました。

バスツアーだからこそ、帰りの運転のことなど気にせず、お子様と一緒に思いっきりパークを最後の時間まで楽しむ多くのお父さん・お母さんの姿に、企画の成功を幹事役員全員で達成感を味わえました。来年も継続して開催しようと思います。

(草津栗東地区労福協事務局長 山下 剛)

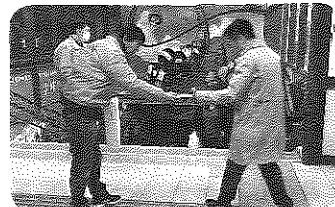
～2017生活底上げ・福祉強化キャンペーン～ 9地区労福協が8地域で街頭活動を実施

東近江地区・近江八幡地区労福協及び労金・住宅生協合同で「2017年度生活底上げ・福祉強化キャンペーン」の一環として、12月21日(木)18時30分から総勢約20名で、イルミネーションにより彩られた近江八幡駅南口広場においてチラシ・ティッシュ配りを行いました。



↑(12/21(木)近江八幡駅での街頭活動の様子)

年末に差し掛かりクリスマスムードが漂う中、南北口に分かれ『生活底上げ』を訴えながら街頭啓発をおこないました。



↑(湖南甲賀地区労福協：11/29(水)貴生川駅での街頭活動の様子)

配布中、受け取っていただいた方の中には、「寒い中ご苦労さま。」「共に頑張りましょう。」等の声を掛けていただき、実りある生活底上げキャンペーンになりました。

(近江八幡地方労福協事務局長 居原田吉治)

～★住宅生協よりお知らせ★～



募集要項および応募用紙は、「滋賀県住宅生協」HP

<http://www.shiga-jutaku.jp/>よりダウンロードできます。

【応募締切】：2018年1月31日(水)必着
【賞金】：最優秀作品(1点)3万円

第63回滋賀県勤労者美術展

2018年3月20日(火)～25日(日)

「草津市立草津クレアホール」にて

作品募集要項はホームページに掲載しています

<http://www.s-rofuku.com>

お問合わせ先／(一社)滋賀県勤労者福祉協議会

〒520-0806 大津市打出浜2-1 ｺｰﾈｰｼﾞが21内

TEL077-524-6290 FAX077-523-4070



あけまして おめでとうございます

日頃のご愛顧に心より感謝いたしますとともに
本年も倍旧のお引き立てを賜りますようよろしく
お願い申し上げます



「いろいろなシーンで、くつろぎと素敵を・・・」
皆様のお越しを心よりお待ちしております。

一般財団法人 守山野州市民交流プラザ
Riseville 都賀山
ライズビルツカヤマ

〒524-0033 守山市浮気町 300-24【JR守山駅東口】
TEL077-583-7181 Fax077-583-8221
URL <http://tsugayama.or.jp>
Mail front@tsugayama.or.jp

謹賀新年

旧年中はひとかたならぬご厚情を賜り厚くお礼申し上げます
昨年7月の九州豪雨災害さらに9月の台風18号10月
には台風21号の風水害により県内にも大きな被害を及
ぼしました 地震や風水害など自然災害全般の防災・減
災への対策と火災や事故からの防災力の向上など事業継
続も含めた日常の危機管理体制の強化を求められた一年
でした

一方沖縄復帰から45年を迎えた昨年 7月7日には
国連本部で開かれた交渉会議で人類史上初めて核兵器を
違法化する「核兵器禁止条約」が122カ国の賛成で採
択されました これによりヒロシマ・ナガサキの被爆者
の長年の願いが一つ実現しました しかし被爆者の方々
が望んでいるのは生きていくうちに核兵器を根絶させる
ことです

県内においても12月に「ヒバクシャ国際署名を広げ
る滋賀県民の会」が結成され県内で30万筆を目標に署
名運動を推進することが確認されました

私たちは核兵器廃絶を共通の願いとして被爆者の皆さん
とともに核兵器のない平和な社会を求める活動をすす
めていきたいと願っています そして全世界から一刻も早
く核兵器が根絶されることを願って「ヒバクシャ国際署
名」の運動とともにすすめていきましょう

何卒倍旧のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上
げます



2018年1月

滋賀県生活協同組合連合会
会長 北川 紀子

謹賀新年
高気密・高断熱・健康住宅
新築・リフォーム
住まいのことならお任せ下さい
滋賀県労働協同事業団体
株式会社 セイキョーホーム
〒522-0002 滋賀県彦根市松原町 3651 番地 31 TEL0749-22-0157 FAX0749-22-0157
宅地建物免許 滋賀県知事(第3068号)建設業許可 滋賀県知事許可(般-28)第51766号

**総合企画
編集・印刷**

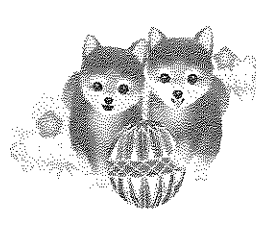


本年も何卒よろしく
お願い申し上げます
代表取締役 東郷 崇司

M ユメディア(株)
大津市松本2丁目10-6 連合福祉会館 2F
TEL: 077-527-9221 FAX: 077-527-9222

HAPPY NEW YEARS
BRIDAL SHOP 花嫁の館
本年も変わらぬご愛顧を
お願いします
ニューブライダル
大津市馬場一丁目5番地 Phone077-524-8480
営業時間/10:00~18:30 定休日/木曜日・第3水曜日



- 
- 大津地区労働協 会長 西岡 正光
 - 草津栗東地区労働協 会長 松田 浩昌
 - 守山野洲地区労働協 会長 又吉賢太郎
 - 湖南甲賀地区労働協 会長 奥田 修
 - 近江八幡地方労働協 会長 三添 浩幸
 - 東近江労働協 会長 岸本 正治
 - 彦根地区労働協 会長 千秋 章造
 - 湖北地域労働協 会長 服部 智成
 - 高鳥労働協 会長 新谷 健治
- 働く仲間とその家族が
安心して暮らせる社会を
目指し、地域の皆さまと
ともに歩んでまいります。
本年もどうぞよろしく
お願い致します。
二〇一八年一月



非営利だから、
できる保障がある。

ZENROSAI NEWS
2517Z008

謹賀新年



旧年中は労済運動への格別のご理解・ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、昨年9月に全労済は創立60周年を迎えました。「健全な事業基盤を確立し、常に組合員から信頼され、安心を提供できる組織」であり続けるために、事業構造改革・組織改革・意識改革を進め、将来にわたる組合員の保障と安心の一層確実な提供を目指し、運動と事業を展開してまいります。本年も変わらぬご支援・ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

全労済滋賀推進本部 (滋賀県勤労者共済生活協同組合)
本部長 西村 典夫 役職員一同

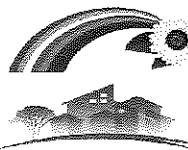


ありがとうをあたらしい未来へ
おかげさまで全労済は
60周年を迎えました

新年あけましておめでとうございます。

旧年中は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

「レインボータウン貴生川」「ヴィータフェリーチェ大津園山」
「レインボータウン草津追分」



レインボータウン 貴生川
～ひまわりの街～

Vita Felice
大津園山～育みの街～



レインボータウン
草津追分

の3分譲団地販売の事業運営にご支援・ご協力賜り、ありがとうございました。

ここまでほぼ計画に沿った実績をあげることができ、皆様には安心してご利用いただけます事業体質となっております。住宅産業は、2014年の消費増税前の駆け込み需要の反動減がようやく一巡し、徐々に買い替え需要が顕在化するも、新設着工戸数は年々下降線をたどっているような状況から脱してはおりません。

今後を睨みましても難しい課題を抱えての事業運営となりそうですが、労働福祉事業団体の一役を担い、組合員の皆様の住宅ニーズにお応えし、快適な住環境づくりに邁進していきたいと思っております。

皆様方のこれまで以上のご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、皆様方のご健勝とご多幸を心よりご祈念申し上げます。

滋賀県勤労者住宅生活協同組合
理事長 松元 光彦 職員一同

新年あけましておめでとうございます

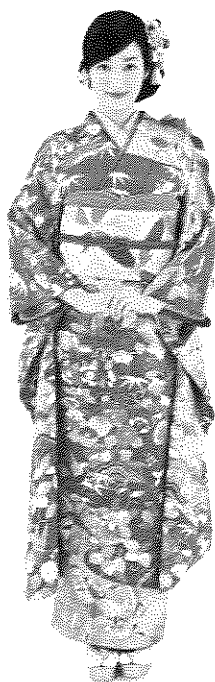


旧年中はひとかたならぬご愛顧をいただきましたことを心からお礼申し上げます。

2017年度は、「労金運動の再構築」「業務改革」「営業活動の最大化」「事務の効率化」「人材育成」の5点を「主要課題」と位置付け各政策に取り組んでまいりました。

「金融健康診断」を通じた可処分所得の改善につきましても、会員の皆さまに幅広く取組みいただき、ろうきん商品・制度を多くの皆さまにご利用いただくことが出来ました。

会員の皆さまからの期待に応えるべく、お客様への良質な金融サービスの提供を通じて「すべての勤労者の笑顔のために」役職員一丸となって精励してまいりますので、今後ともご支援・ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。



近畿労働金庫滋賀地区統括本部 本部長 山崎 正雄
滋賀地区各営業店・ローンセンター 職員一同

すべての勤労者の笑顔のために
近畿ろうきん

<http://www.rokin.or.jp> (スマートフォン)

お客様センター ☎0120-191-968
月曜～金曜9:00～18:00(土曜・日曜・祝日、12月31日～1月3日は除く)

